

ベルリン市ミッテ区紹介

ドイツ連邦共和国



日本とドイツの時差は 8 時間。夏季(3 月～10 月)はサマータイムに変更され、時差は 7 時間。

夏は 30 度を超えることはまれで、湿度が低く過ごしやすい。夏季は日照時間が長く、20 時過ぎまで明るい。

ベルリン

ドイツの首都。1990 年に東西統合され、活気に満ちた国際的文化都市へ生まれ変わっている。

ベルリンは 12 の地区に分かれ、各地区がそれぞれ特徴を持っている。緑が多く自然があるかと思えば、国際都市の雰囲気にも溢れている場所もあり、多様な特徴を持っていることが首都ベルリンを特別なものになっている。ドイツ連邦議会議事堂、博物館島、シャルロテンブルク宮殿、ポツダム広場など、さまざまな見所の宝庫となっている。

～ベルリンの歴史～

ベルリンが市になったのは、1231 年のことである。初めて文書にその名前が載ったのは 1237 年。

1415 年、ホーエンツォレルン家がベルリンとその周囲に初めて世俗的な行政制度を導入したが、権力・勢力・財政にしか興味がなかったため、文化都市には発展しなかった。商業面では、運河の利用により東西の中継点として発展した。

1713 年、フリードリッヒ・ヴィルヘルム 1 世の時代を迎えて、根本的な改革が行われる。プロイセン(現在のドイツ北部からポーランド西部にあった王国、首都ベルリン)を軍事強国に押し上げると同時に、ベルリンの再開発に着手。現在のベルリンの町並みの基礎を造る。

19 世紀初頭、ベルリンで第一次産業革命が起こる。これにより貧富の差が拡大、社会的問題へと発展する。

20 世紀初頭、第一次世界大戦終結。その後、文化が爛熟する「黄金の 1920 年代」となり、ベルリンは、ヨーロッパの文化・芸術の最先端の地へ。また、鉄道・地下鉄・映画・ラジオといった都市生活の基礎が整えられる。

1933 年アドルフ・ヒトラーが帝国宰相に就任。1945 年、第二次世界大戦終結。無条件降伏を受け、ドイツは 4 つの戦勝国により分割統治される。首都ベルリンは全ドイツに係わる領域と見なされ、同様に 4 戦勝国に分割されることになる。周囲をソ連領域に囲まれた中に位置する西ベルリンは陸の孤島のような存在となる。

1962 年、ベルリンの壁構築(西ベルリン国境線上)。国境警備が強化されるが逃亡者が続出し、解放への運動・交渉が続けられる。

1989 年、ベルリンの壁崩壊。1990 年、東西ドイツ統一。ベルリンが統一ドイツの首都となる。

東西ドイツ統一以降、ベルリンは建築ブームにあり、古い建物が残されつつも、新しい建物が建てられ、魅力的な外観を造り続けている。

ベルリン市ミッテ区

ミッテ (Mitte) とは、ドイツ語で「中央、真ん中」という意味で、その名のとおりミッテ区はベルリン市の中央に位置している。

新宿区ーミッテ区

新宿区は、1990年より、ドイツ連邦共和国ベルリン市の中心に位置するティアガルテン区と友好交流関係を開始した。両区は、ともに国の首都の中心にあるという立地の類似性や、多くの外国人居住者を抱え、都市再開発など共通の問題点を抱える点、さらに新宿御苑に対してティアガルテン公園という広大な緑地環境を有する点等、多くの共通項が認められている。2001年にはティアガルテン区と近隣の2区が合併して、新たなミッテ区が発足し、首都ベルリンの「中央区」として、政治経済におけるドイツ全体の中心ともいえる重要な位置を占めている。世界に開かれた国際都市東京の中心新宿と、ベルリンの中心ミッテ区という似通った立場の両区が、さまざまな面で互いに学び合うことは、双方にとって大いに役立つものと考えられている。



ブランデンブルク門

ドイツユーロ硬貨の裏側にお目見えする
国民的シンボル



ドイツ連邦議会議事堂

周りの古い建物を残したまま、内部は環境に配慮した現代的な建物に作られている。



博物館島

世界でも重要な博物館群のひとつ
1999年ユネスコ世界文化遺産登録



シャルロッテンブルク宮殿

プロイセン王国の宮殿。世界遺産



ティアガルテン公園

都会のオアシス



ポツダム広場の夜景

再開発が進むポツダム広場